

# 会長の時間 第2回

## 「ロータリーの目的」の意味

日出ロータリークラブ  
会長 加賀山 茂

### 1. ロータリーの目的とは

ロータリーの基本理念は、前回にその意味を探究した「四つのテスト」、今回取り上げる「ロータリーの目的」そして、次回に取り上げる予定の「五大奉仕部門」です。その中でも、「ロータリーの目的」は、私たちは、「何のためにロータリークラブで活動をしているのか」を明らかにするものであり、ロータリーの基本理念の中でも、最も重要な考え方です。

そこで、今回は、「ロータリーの目的」について、その意味を明らかにしたいと思います。ロータリーの目的は、以下通りです。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として**奉仕の理念を奨励し、これを育むこと**にある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって**奉仕の機会**とすること

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に**奉仕する機会**としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、**奉仕の理念を実践**すること

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、**国際理解、親善、平和を推進**すること

最初の一文によれば、ロータリーの目的は、奉仕の理念を奨励し、育むことにあるということになります。以下の四つの項目は、この目的を実現するための手段に過ぎないのでしょうか？ それとも、ローラリーの目的の一部なのでしょう？

### 2. 四つの項目と「ロータリーは機会の扉を開く」との関係

ロータリーの目的に掲げられた4つの項目をよく見ると、第1項目と、第2項目とに、「機会」という言葉が使われています。しかも、いずれも、ロータリーの目的である「奉仕の機会」として位置づけられています。

そうすると、第1項目と第2項目は、今年度のRIのHolger Knaack 会長のテーマと大いに関係があるように思われます。



**第1のクランベリー・レッド(赤色)の扉**に、ロータリークラブの目的の**第1項目**に重ね

てみましょう。そうすると、第1の扉は、「知り合いを広めることによって奉仕の機会とする」という扉を開くということになります。ロータリーソング「我らの生業」における「求むるところは和らぎ睦び」とも重なります。

**第2のゴールド(黄色)の扉**に、ロータリークラブの目的の**第2項目**を重ねてみましょう。そうすると、第2の扉は、「職業倫理を高めて奉仕の機会とする」という扉を開くことになります。ロータリーソング「我等の生業」における「努むるところは向上奉仕」にも重なります。

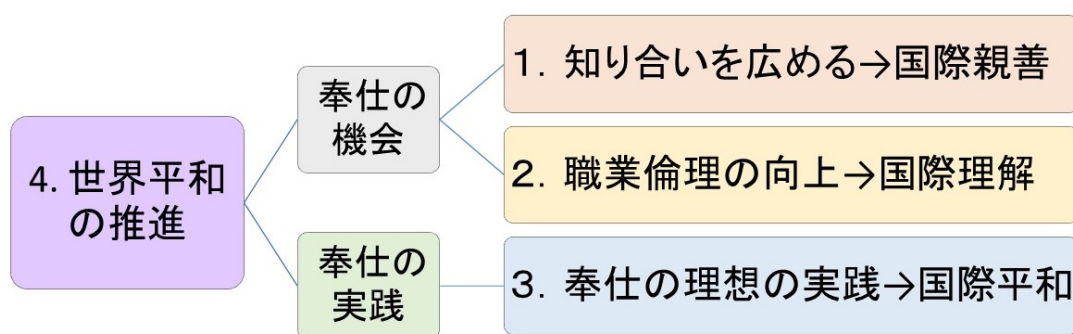
**第3のロイヤル・ブルー(青色)の扉**に、ロータリークラブの目的の**第3項目**を重ねてみましょう。そうすると、第3の扉は、「奉仕の理想を実践するために社会へと出ていく扉」を開くということになります。今期の日出ロータリークラブの会長のテーマ「次世代への奉仕活動を実践しよう」とも重なります。

最後に、ロータリークラブの目的の**第4項目**である「世界的ネットワークを通じて、国際理解、国際親善、国際平和を推進すること」が余りました。機会の扉は3つしかないのですから、当然といえば当然です。

では、この**第4項目**は、ロータリークラブの目的の中で、どのような位置を占めるのでしょうか。前回の「四つのテスト」の意味を考える場合と同様、この**第4項目**は、実は、ロータリーの目的の実現目標なのです。つまり、(1) 知り合いを広め(国際親善を含む)、(2) 職業倫理を向上させて(国際理解を含む) 奉仕の機会を広げ、(3) 奉仕の理想を実践することを通じて、最終的に (4) **国際平和を推進**することが、ロータリーの目的なのです。

### 3. ロータリーの目的の構造化

それでは、最後に、今までの検討を踏まえて、ロータリーの目的を図によって構造化することにしましょう。



これで、前回の「四つのテスト」の場合と同様に、「ロータリーの目的」も今期のRI会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」との関係性を明らかにすることができました。

次回は、ロータリークラブの基本理念の最後に位置する「**五大奉仕部門**」について考察し、今年度の日出ロータリークラブ会長のテーマ「和らぎ睦びて事を論じ、次世代への奉仕活動を実践しよう」の意義について検討することにします。ご期待ください。